

## News release

スイス・リー・グループ2015年通期決算発表 – 純利益は31%増の46億米ドル。配当を4.60スイスフランへ増加し、新たな自社株買いを提案。クリスチャン・ムーメンターラーが2016年7月1日付でグループCEOに就任

- グループの業績は純利益46億米ドルと好調で、2011-2015年のROEおよびEPSの財務目標を達成
- 損害再保険事業の純利益は30億米ドル、株主資本利益率は22.2%
- 生命・医療再保険事業の純利益は9億3900万米ドルに達し、株主資本利益率目標を達成
- コーポレート・ソリューションズの純利益は3億4000万米ドル、株主資本利益率は14.8%
- アドミン・リー®の純利益は4億2200万米ドル、通期の総キャッシュフローは5億4300万米ドル、株主資本利益率は7.5%
- 1月の損害再保険更改でポートフォリオは高い魅力を維持し、困難な市場環境にもかかわらず、引き続き大型のテラーメードの契約を通じた差別化に成功
- 2015年の好調な業績が戦略的枠組みと相まってもたらしたのは将来への優れた基盤
- 取締役会は普通配当を8.2%増の1株当たり4.60スイスフランとし、10億スイスフランを上限とする新規の自社株公開買戻しプログラムの承認を提案
- 2016年7月1日付でミシェル・M・リエスが退任し、クリスチャン・ムーメンターラーがグループCEOに就任

チューリッヒ、2016年2月23日 – スイス・リー・グループ(以下、「スイス・リー」)の2015年通期の純利益は46億米ドルと好調で、うち9億3800万米ドルが第4四半期に上げた収益であったことが明らかとなりました。3つの全事業部門がこの業績に貢献する中、とりわけ2014年の経営施策が功を奏した生命・医療再保険事業が純利益の高い伸びを記録しました。この5年間、スイス・リーは2011-2015年グループ財務目標に向かって全力を掲げて取り組んできましたが、株主資本利益率(ROE)と1株当たり利益(EPS)の目標を達成することに成功しました。好調な業績と盤石な資本基盤を背景に、当社取締役会は普通配当を1株当たり4.60スイスフランに引き上げることを提案する予定です。さらに取締役会は次の年次株主総会で、10億米ドルを上限とする新たな自社株の公開買戻しプログラムを提案します。

グループの最高経営責任者を務めるミシェル・M・リエスは次のように述べています。「スイス・リーは過去5年にわたり当社の引受規律に基づき好調な業績をあげ、この期間を過去最高水準の収益で終了することができました。ま

Media Relations,  
Zurich  
Telephone +41 43 285 7171


New York  
Telephone +1 914 828 6511

Hong Kong  
Telephone +852 2582 3660

Investor Relations,  
Zurich  
Telephone +41 43 285 4444

Swiss Re Ltd  
Mythenquai 50/60  
P.O.Box  
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121  
Fax +41 43 285 2999

[www.swissre.com](http://www.swissre.com)  
 @SwissRe

た、2011年以降市場環境が大きく変わる中においても、当社が掲げてきた株主資本利益率と1株当たり利益の目標の達成をご報告いたします。生命・医療再保険事業は、2014年に講じた経営措置により、好調な営業成績を回復させました。強固な資本基盤を維持し、利益を源泉とした普通配当を増やしたほか、自社株買戻しも実行しました。また、お客様に提供できるサービスの幅も広がっています。」

### 好調な通期グループ業績

全事業部門の貢献により、2015年のグループの純利益は31%増の46億米ドル(前年は35億米ドル)となりました。この業績は好調な引受実績、自然災害による損害が少なかったこと、準備金の取り崩しのほか、生命・医療再保険事業の好調な業績によるものでもあります。

2015年の株主資本利益率は13.7%、1株当たり利益は12.93スイスフラン(13.44米ドル)となりました。前年は9.33スイスフラン(10.23米ドル)でした。

また、同年の既経過保険料および手数料収入はグループ全体で総額302億米ドルとなりました。2014年は313億米ドルでしたが、これは為替動向の悪影響が主な要因となります。為替変動の影響を除けば既経過保険料および手数料収入は4%の増加でした。

低金利の厳しい環境の中、スイス・リーは投資においても通期で好調な収益を達成しました。グループの2015年の投資収益率(ROI)は3.5%(前年は3.7%)で、質の高いバランスの取れたポートフォリオで引き続き安定した収益を維持しました。純投資収益は、資産の流出もあり34億米ドル(前年は41億米ドル)となりました。

普通株主資本は2015年末時点で324億米ドルとなりました(前年末は348億米ドル)でした。2015年12月31日時点での普通株1株当たりの簿価は95.98米ドルまたは96.04スイスフラン(前年末は101.78米ドルまたは101.12スイスフラン)でした。

### 株主への大幅な資本収益還元、新たな公開自社株買戻しを提案

2015年末時点でおおよそ205%と推定されるグループのSST(スイス・ソルベンシー・テスト)比率で表されたグループの強固な資本基盤に基づき、スイス・リーの取締役会は1株当たり普通配当を2014年の4.25スイスフランから8.2%引き上げ、2015年は4.60スイスフランとする提案を行う予定です。配当金の支払いは、2016年4月22日に開催される定時株主総会での承認を経て実施されます。スイス・リーは、2015年11月に10億スイスフランを上限とする自社株買戻しプログラムを発表しました。現在までのところ、買戻し価格で総額約9億スイスフランの買戻しが完了しています。買戻した株式については、取締役会は減資という形で償却することを2016年の定時株主総会で提案する予定です。

スイス・リーは今後も株主への還元を続けていく予定で、取締役会では10億スイスフランを上限とする新たな自社株買戻しプログラムを2017年度定時株主総会までに実施すべく、承認を求める考えです。この自社株買戻し

は、余剰資本が生じていること、大規模な損失事象が発生していないこと、スイス・リーの戦略・財務目標に合致するその他のビジネス機会がないこと、そして必要な規制当局の承認が得られることを条件として実施されます。以上の資本政策により、株主還元総額は2012年の新グループ体制への移行後の累計で、提案予定の自社株買戻しを除いた場合でも121億米ドルが見込まれます。

### **損害再保険事業の純利益は30億米ドル、株主資本利益率も22.2%と好調**

損害再保険事業の純利益は、保険料率の軟化と巨額の人災損害、実現投資利益の減少を受けて2015年は30億米ドルに減少しました(前年は36億米ドル)。今期の業績は、引き続き自然災害の発生が少なかったこと、過年度の準備金取り崩しを背景とする堅固な引受結果を反映しています。当期のコンバインド・レシオは86.0%でした(前年度83.7%)。

また、既経過保険料は151億米ドル(前年度156億米ドル)でした。減少の主な要因は為替レートの変動でした。この影響を除いた既経過保険料は、米国における損害保険料の増収、EMEA(欧州、中東、アフリカ)地域で前年度に引き受けた契約からの増益を主な要因として、4億9700万米ドルの増加となりました。

### **生命・医療再保険事業は収益の大幅増をけん引し、株主資本利益率目標を達成**

生命・医療再保険事業は2015年、9億3900万米ドルの純利益を計上しました。当年度の純利益は好調な営業利益と利払いの減少、正味実現利益を反映したものでした。なお、2014年は、2004以前の米国個人向け生命保険契約に対処するために講じた経営措置が主な要因で4億6200万米ドルの純損失でした。

生命・医療再保険事業は2013年6月の投資家説明会で発表された株主資本収益率の目標値10~12%を達成し、調整後の同収益率を11.8%としました。調整前の2015年同指標は15.7%でした。

既経過保険料および手数料収入は2.7%減の110億米ドル(前年は113億米ドル)でした。為替変動の影響を除いた場合、2015年の同収入は6%増でした。これには欧州における長寿保険の新規契約とオーストラリアにおける大型契約が貢献しました。

### **コーポレート・ソリューションズの純利益は6.6%増、株主資本利益率は14.8%**

コーポレート・ソリューションズは2015年、3億4000万米ドル(前年は3億1900万米ドル)の純利益を計上しました。これはほとんどの保険種目で黒字が続いたことと投資収益が増加したことを反映しています。

保険料収入は1.9%減の34億米ドルとなり、厳しい市場環境と為替レートの変動が影響しました。為替変動の影響を除いた場合、保険料収入は1.7%増加しました。

当年のコンバインド・レシオは、大規模な人災による損害が増加したことから前年の93.0%よりも若干上昇し、93.8%となりました。自然災害の実績が予想よりも良好に推移していることから、同事業部の財務体質は毎年安定的に良い状態が続いています。コーポレート・ソリューションズは当年中にいくつかの拠点を開設しており、販売網を20ヶ国52事業所に増やしました。

#### **アドミン・リー®の純利益は4億2200万米ドルを計上し、2016年1月1日付でライフキャピタル事業部に再編**

アドミン・リー®は2015年、4億2200万米ドルの好調な純利益を計上しました(前年は3400万米ドル)。この結果は主に、ソルベンシーII対策の一環として実施した資産売却からの実現利益の増加と、英国の2015年の税額控除によるものでした。2014年の業績は、オーロラ・ナショナル・ライフ・アシュアランス・カンパニーの売却損2億300万米ドルの影響を受けました。

2015年通期の総キャッシュフローは5億4300万米ドルと好調でしたが、これには主に英国の死亡率といった仮定のアップデートおよび英国の半期法定評価の結果といったプラスの影響が含まれています。ガーディアン・ファイナンシャル・サービスの買収により、アドミン・リー®は英国において生命保険のクローズド・ブック事業のコンソリデーター最大手となりました。

グループの通期業績について、スイス・リー・グループ最高財務責任者であるデビッド・コールは次のように述べています。「この業績は、業界全体が厳しい市場環境の向かい風を受けているにもかかわらず、当社はチャンスをつかむ準備ができていたことを表しています。今後も、当社は資本力と財務的な柔軟性を組み合わせ、収益性の高い事業の拡大を続けていくための体制をしっかりと整えていきます。」

#### **第4四半期の業績**

2015年第4四半期のグループの純利益は9億3800万米ドルで、2014年同期の2億4500万米ドルを上回りました。前四半期には、生命・医療再保険事業における経営措置の影響および長寿保険事業を支えるアセットファイナンスの仕組みの解消の影響を反映しています。当四半期のグループの投資収益は2.7%でした(前年同期は3.6%)。

同四半期の損害再保険事業の純利益は、実現利益の減少により7億300万米ドルに減少しました(前年同期は12億米ドル)。当該四半期は英国とインドにおける洪水による損失によって影響を受けました。既経過保険料は37億米ドルに減少しましたが、為替変動の影響を除いた場合は横ばいでした。米国のカジュアルティー事業の拡大は、アジアの自動車保険事業とEMEAおよびアジア地域の財物保険事業の減少によって相殺されました。

生命・医療再保険事業は、1億7600万米ドルの純利益を計上し、2014年の経営措置から7億3400万米ドルの赤字となった前年同期とは対照的な結果となりました。営業利益率は7.8%に改善しました。為替変動の影響を除いた場合、既経過保険料および手数料収入は英国とアジアで引き受けた新規案件が功を奏しわずかに増加しました。

コーポレート・ソリューションズの第4四半期の純利益は1600万米ドル(前年同期は7000万米ドル)でした。予想を上回る大規模な人災による損失や、2015年12月の天候が暖かかったことによりデリバティブ形式の保険事業に関する損失が増加しました。同四半期の保険料収入は1.4%減の8億5800万米ドルとなり、厳しい市場環境と為替レートの変動が影響しました。為替変動の影響を除いた場合、既経過保険料収入は1.3%増加しました。コンバインド・レシオは99.5%(前年同期は93.4%)でした。

アドミン・リー®は1億5200万米ドルの純利益を計上しました。2014年の第4四半期はオーロラの売却損2億300万米ドルがあったため、1億8500万米ドルの純損失を計上しました。2015年第4四半期の総キャッシュフローは前年同期の3億3000万米ドルから減少し、2億7800万米ドルでした。前年同期にはオーロラ・ナショナル・ライフ・アシュアランス・カンパニーの売却による収入2億1700万米ドルも含まれます。

#### **スイス・リーのポートフォリオは2016年1月の更改における料率の圧力にもかかわらず健全性を維持**

スイス・リーは、86億米ドルの保険料ボリュームに対し、88億米ドルで更改を行いました。これは3%の増加に相当しますが、その要因は大型のテーラーメイド型の契約が16%増加した一方で、継続的な契約が4%減少したことによるものです。リスク調整後の適性料率は3ポイント減の102%に低下しましたが、一般的な契約条件とは異なる大型のテーラーメイド型契約の獲得を通じた差別化に成功しており、更改された契約は引き続きスイス・リーの経済的利益の基準値を満たしています。

#### **収益性と経済成長に焦点を当てたスイス・リーの目標**

スイス・リーは、2011-2015年の株主資本利益率と1株当たり利益の財務目標を達成しています。1株当たり経済的純資産の目標に関する結果は、2016年3月16日に発行される2015年度年次報告書および経済価値マネジメント(EVM)報告書の公開をもって発表されます。

スイス・リーは2016年から新たな2つのグループ財務目標を設定しました。すなわち、設定期間中の株主資本利益率がリスク・フリー・レート(すなわち10年米国債の利回り)を700ベース・ポイント上回ること、また1株当たり経済的純資産の年間成長率10%を目指します。

グループの最高経営責任者を務めるミシェル・M・リエスは次のように述べています。「2015年12月にお知らせした当社の戦略的枠組みは、俊敏に市場の困難に対処していく上で、当社の力を強化してくれます。さらにこの枠組みは、今後も新たな機会を素早く捉える上で当社の支えになります。そして困難な環境の中でのスイス・リーの差別化と、顧客基盤の拡大・多様化を進める力として、当社をサポートし続けてくれると思われま。リスク管理は当社の中核ビジネスであり、それはこれまで150年以上にわたり変わっていません。スイス・リーはリスクの予想と管理に新鮮な視点、知識、資本を駆使することで、世界をより弾力性のあるものにしていきたいと考えています。」

## 2016年7月1日付でミシェル・M・リエスが退任し、クリスチャン・ムーメンターラーがグループ CEO に就任

スイス・リー取締役会は、現再保険部門 CEO のクリスチャン・ムーメンターラー(46歳、スイス国籍)が2016年7月1日付でスイス・リー・グループ最高経営責任者に就任することを発表いたします。これを以て、ミシェル・M・リエスは退任します。ウォルター・B・キールホルツ取締役会長は次のように述べています。「ミシェル・M・リエスはスイス・リーで勤続35年以上、最後の4年間はグループ CEO を勤め上げ、取締役会としても感謝の意を伝えたいと思います。ミシェルはそのキャリアを通じてスイス・リーの価値をこれまでに高く高め、グループのゆるぎない業績発展のキーパーソンとして活躍してきました。過去4年間は彼のリーダーシップの下で純利益がほぼ倍増し、資本基盤も大幅に増加し、総額120億米ドル以上の余剰利益を株主の皆様へ還元してきました。2011-2015年の財務目標対象期間を成功裏に終えようとし、新しい戦略的枠組みをご紹介できるこの時期が、皆様への退任のお知らせに最適であると考えております。」

ミシェル・M・リエスは次のようにコメントしています。「私はスイス・リーの将来に熱烈な関心を持っています。クリスチャン・ムーメンターラーは彼のチームと共に、この業界、そしてさらに広くは社会全体の中におけるスイス・リーの役割をさらに強化していってくれるものと固く信じています。この素晴らしい企業のために働くことができたことは、とても光栄で名誉なことであると思っています。これからもずっと、スイス・リーの一員であったことを誇りに思います。」

クリスチャン・ムーメンターラーはスイス・リー入社17年目で、現在は再保険部門の CEO を務めています。取締役会は、円滑な引継ぎが可能であり、グループ戦略の実施に深い理解と豊富な経験を持つ後継者を社内から選出できたことを喜ばしく思います。ムーメンターラーは5年近くにわたり、グループの収入のおよそ85%を占める再保険事業部門を率いてきました。彼は、損害再保険事業の好業績の維持および、生命・医療再保険事業を回復軌道に乗せた中心人物です。ムーメンターラーのグループ CEO 指名は、スイス・リーの人材の豊富さとスイス・リー独自の企業文化を維持する大切さの両方を物語るものです。

### 通期業績(2015 vs 2014)

		2015年度	2014年度
<b>損害再保険</b>	既経過保険料(百万米ドル)	15 090	15 598
	純利益(百万米ドル)	2 977	3 564
	コンバインド・レシオ(%)	86.0	83.7
	投資収益率(%)	3.5	3.7
	株主資本利益率(%)	22.2	26.7

<b>生命・医療再保険</b>	既経過保険料および手数料 (百万米ドル)	10 963	11 265
	純利益(百万米ドル)	939	(-462)
	営業利益率 <sup>1</sup> (%)	9.9	2.6
	投資収益率(%)	3.4	3.2
	株主資本利益率(%)	15.7	(-7.9)
<b>コーポレート・ソリューションズ</b>	既経過保険料(百万米ドル)	3 379	3 444
	純利益(百万米ドル)	340	319
	コンバインド・レシオ(%)	93.8	93.0
	投資収益率(%)	3.0	2.6
	株主資本利益率(%)	14.8	12.5
<b>アドミン・リー®</b>	既経過保険料および手数料 (百万米ドル)	782	955
	総キャッシュフロー (百万米ドル)	543	945
	純利益(百万米ドル)	422	34
	投資収益率(%)	4.7	4.6
	株主資本利益率(%)	7.5	0.6
<b>グループ連結(総額)<sup>2</sup></b>	既経過保険料および手数料 (百万米ドル)	30 214	31 262
	純利益(百万米ドル)	4 597	3 500
	1株当たり利益(米ドル)	13.44	10.23
	コンバインド・レシオ(%)	87.4	85.4
	投資収益率(%)	3.5	3.7
	株主資本利益率(%)	13.7	10.5

#### 第4四半期決算の詳細(2015 vs 2014)

		2015年 4Q	2014年 4Q
<b>損害再保険</b>	既経過保険料(百万米ドル)	3 712	3 920
	純利益(百万米ドル)	703	1 179
	コンバインド・レシオ(%)	89.6	86.7
	投資収益率(年率%)	2.7	4.2

<sup>1</sup> 営業利益率は営業利益を営業収益の総額で除して算出。

<sup>2</sup> プリンシパル・インベストメントを含むグループ項目も反映している。

	株主資本利益率(年率%)	22.4	35.8
<b>生命・医療再保険</b>	既経過保険料および手数料 (百万米ドル)	2 872	2 825
	純利益(百万米ドル)	176	(-734)
	営業利益率 <sup>3</sup> (%)	7.8	(-15.9)
	投資収益率(年率%)	2.8	3.0
	株主資本利益率(年率%)	12.1	(-45.5)
<b>コーポレート・ソリューションズ</b>	既経過保険料(百万米ドル)	217	224
	純利益(百万米ドル)	278	330
	コンバインド・レシオ(%)	152	(-185)
	投資収益率(年率%)	4.5	3.7
	株主資本利益率(年率%)	11.8	(-11.9)
<b>アドミン・リー®</b>	既経過保険料および手数料 (百万米ドル)	217	224
	総キャッシュフロー (百万米ドル)	278	330
	純利益(百万米ドル)	152	(-185)
	投資収益率(%)	4.5	3.7
	株主資本利益率(年率%)	11.8	(-11.9)
<b>グループ連結(総額)<sup>4</sup></b>	既経過保険料および手数料 (百万米ドル)	7 659	7 839
	純利益(百万米ドル)	938	245
	1株当たり利益(米ドル)	2.75	245
	コンバインド・レシオ(%)	91.4	87.9
	投資収益率(年率%)	2.7	3.6
	株主資本利益率(年率%)	11.5	2.9

上記および『2015年度スイス・リー・グループ財務レビュー』には、2015年の当社事業および業績、ならびに監査前の暫定的な財務情報の更新が掲載されています。当社事業および業績についての更新情報は、当社の2015年度年次報告書および2015年の監査済み財務諸表のほか、記載が要件とされているか年次報告書にこれまで掲載してきたその他開示情報にも掲載されます。上記および『2015年度スイス・リー・グループ財務レビュー』は、2016年3月16日付でスイス・リーのウェブサイト上で公開される予定の2015年度年次報告書完全版に代えることを意図したものではありません。

#### スイス・リーについて

<sup>3</sup> 営業利益率は営業利益を営業収益の総額で除して算出。

<sup>4</sup> プリンシパル・インベストメントを含むグループ項目も反映している。



スイス・リー・グループは、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。直接、またはブローカーを通して、世界中の保険会社、中規模企業から大企業、公共部門のお客様にサービスを提供しています。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品までを携え、スイス・リーは、その資本基盤と、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にするための専門知識と革新力を展開しています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界約70カ所で事業拠点を展開しています。スタンダード&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「Aa3」、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社である Swiss Re Ltd の登録株式は、スイス証券取引所のメインスタンダードに準拠して上場しており、ティッカーシンボル SREN で取引されています。スイス・リー・グループに関する詳細は、ウェブサイト ([www.swissre.com](http://www.swissre.com)) をご覧いただくか、または Twitter で ([@SwissRe](https://twitter.com/SwissRe)) をフォローしていただきますようお願い致します。